

「JOCオリンピック教室」を開催 オリンピックバリューについて考える

平成30年9月13日に霞ヶ関中学校、同年11月5、6日に富士見中学校、11月20日に鯨井中学校で、「JOCオリンピック教室」が開催されました。この教室は、公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)がオリンピック・ムーブメントの普及・啓発活動として取り組んでいる事業の一つで、本市の市立中学校においても平成27年度から行われています。

現行の学習指導要領には、オリンピックについての学習内容が示されており、これを受けてJOCは「オリンピックizm(オリンピック精神)」や「オリンピックの価値(バリュー)」をより身近に感じてもらうため、オリンピックアン(オリンピック出場選手)が先生となり、中学校2年生を対象に授業を行う「JOCオリンピック教室」を実施しています。

プログラムは連続2コマで、1コマ目で運動を行った後に、2コマ目で座学の授業があります。鯨井中学校では、オリンピアン野村さんが授業を行いました。

1コマ目の運動での「ボール取り競争」では、生徒たちは、仲間のアドバイスを聞きながら、より多くのボールを集めていました。規定の数のボールを集めると歓声が上がリ、体育館に温かい雰囲気広がりました。



オリンピック 野村智宏さん(アトランタ大会 陸上競技代表)

2コマ目の授業では、野村さんから、「まずやってみる」ことの大切さについてお話がありました。また、「行事や部活動等で得

られる価値が実はオリンピックバリューにもつながる」「合唱祭を例に考えてみよう」とテーマが与えられ、生徒たちはグループに分かれて話し合い、考えをまとめました。

生徒たちは、「みんなで協力して練習した」「目標に向かって取り組んだ」と、これまでの経験をオリンピックバリューに当てはめて、クラスでの取り組み方を振り返りました。また、「自分も様々なことにチャレンジしていきたい」「オリンピックが身近に感じられた」などと話していました。

どの学校の生徒も、「JOCオリンピック教室」を通して、以前よりもオリンピック・パラリンピックへの関心を深め、学校生活の中で活かせる「価値」を見付けていました。



川崎市マスコットキャラクター きも

小学校15校へタブレット端末導入

本市では、学校のICT環境を整備するため、平成28年度から4カ年計画で、小学校32校、中学校22校へタブレット型コンピュータを導入するとともに、校内無線LANの整備を実施しています。

今年度、小学校15校へタブレット型コンピュータの導入を実施。来年度には、すべての市立小・中学校へのタブレット型コンピュータの導入及び校内無線LANの整備が完了する予定です。



12/19に市長を表敬訪問した中島さん兄妹

霞ヶ関東中学校2年

なかじま ひとみ
中島 瞳さん

自転車競技(マウンテンバイク)強化指定選手に

霞ヶ関東中学校2年の中島 瞳さんが、兄の中島 渉さんとともに、オリンピック種目にもなっている自転車競技の強化指定選手に選考されました。兄と妹、それぞれが世界の舞台を目指します。



12/23日に市長を表敬訪問した矢作さん

寺尾中学校1年

やはぎ つばさ
矢作 翼さん

2018世界青少年空手道選手権大会に日本代表として出場

12月7日～9日、「2018世界青少年空手道選手権大会(極真世界連合主催)」がブルガリア・ヴァルナで開催され、寺尾中学校1年の矢作 翼さんが日本代表として出場し、ベスト8の成績をおさめました。

フोटニュース

昭和にタイムスリップ

博物館第29回むかしの勉強・むかしの遊び展

毎年開催している「むかしの勉強・むかしの遊び展」も、平成最後の開催となりました。同展では、人々のくらしが大きく変わる昭和30～40年代を中心に、教室・居間・台所や駄菓子屋の店先を再現しています。

今年度の展示では、「洗濯革命」と題して、手洗いや現在の洗濯機による洗濯までの変遷がわかるように特集展示をしています。中でも今年度初めて展示する「手回し洗濯機」は一見の価値があります。また、昭和の子どもたちが夢中になって集めた切手やペナント、提灯等も展示しています。

<第29回 むかしの勉強・むかしの遊び展>

3月3日(日)まで開催中です。

2月16日(土)、23日(土)には、子ども体験教室「むかしの道具を使ってみよう」(予約不要)、さらに、2月10日(日)には、「第5回なつかしい昭和の自動車展」を開催します！

ぜひご家族でお越しください。

詳しくは、博物館までお問い合わせください。

市立博物館 TEL 222-5399



祝 入館者350万人達成

平成2年3月1日の開館以来約30年。昨年11月15日、市立博物館の常設展・企画展の入館者数が延べ350万人に到達しました。

「ここに来れば川越の町歩きが楽しくなる！」「川越観光はまず博物館から」これからも地域に根差した博物館を目指し、様々な事業に取り組んでまいります。



川越子どもサポート発表会

子どもたちのために、学校・家庭・地域が連携して取り組む「川越・地域子どもサポート事業」。より良い活動を目指し、それぞれの取組が紹介されます。

期 日 2月9日(土)

時 間 午前9時30分～午前11時50分

会 場 川越西文化会館

<主な内容>

- 今年度の活動発表(川鶴・高階・南古谷地区)
他の11地区の活動もスライドショーで紹介
- 子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」
金賞受賞者の発表・表彰
- 入賞者の作品41点をロビーに展示

子どもサポートコンクール

「小江戸見つけ隊」全作品展示会



▲写真は、昨年度の美術館での展示会の様子

子どもサポート発表会で表彰された作品をはじめ、3つの部門(作文・絵画・新聞)の応募全作品1,378点を展示します。

期 日 2月20日(水)～2月24日(日)

時 間 午前9時～午後5時

※最終日は午後3時まで

入場は午後2時30分まで

会 場 川越市立美術館市民ギャラリー並びに
アートホール(郭町2-30-1)

※入場無料

問い合わせ 地域教育支援課 TEL 224-6086